

### ③「(仮称)新宿・地サイダー」の開発サポート事業

- 東京都新宿区を対象。びんはRDロップスを用い、「(仮称)新宿・地サイダー」を商品開発。
- 新宿区商店会連合会(販売)、株式会社エリックス(びん回収)、東京飲料合資会社(ボトラー、びん洗浄)が連携するリユースシステム。びん再使用ネットワークがコーディネート。
- ボトラーからの出荷、空きびん回収はP箱で実施。びんは販売店等で回収を行い、返却してくれた人に対しては地域通貨「アトム通貨」を対価として渡す。

事業名称	③「(仮称)新宿・地サイダー」の開発サポート事業
申請代表者	びん再使用ネットワーク
実施地域	東京都新宿区
対象びん	RDロップス
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区商店会連合会(販売)、株式会社エリックス(びん回収)、東京飲料合資会社(ボトラー、びん洗浄)が連携するリユースシステム。びん再使用ネットワークがコーディネート。</li> <li>・びんはRDロップスを用い、「(仮称)新宿サイダー」を商品開発。新宿区にて販売、空きびんを回収、再利用する。</li> </ul>
回収本数 (想定)	3,840本 ※回収率を80%と想定し試算
本年度の 具体的取組 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(仮称)新宿・地サイダー」の開発(フレーバー選定など)</li> <li>・啓発用チラシ等の作成・配布</li> <li>・地域通貨「アトム通貨」との連携可能性の検討</li> <li>・専用P箱(リース)での空きびん回収、リユース利用 / など</li> </ul>

- リユースするびんはRドロップス。中身はサイダーとしフレーバー選定等商品開発を行う。
- 1月中旬に新宿区商店会連合会の店舗にて販売を開始。出荷本数は1.3万本程度を想定。
- 地域通貨を用いた回収システムを構築。びん回収に協力してくれた消費者には、「アトム通貨」を渡す。

### 実行委員会・推進体制

○実行委員会を組織し、推進方法を検討する。

#### 【実行委員長】

大室新吉 新宿区商店会連合会 会長

#### 【実行委員】

安井潤一郎 新宿区商店会連合会 副会長

北田武夫 (株)エリックス 代表取締役

寺田康夫 東京飲料合資会社 代表取締役

中村秀次 びん再使用ネットワーク 代表幹事

○びんリユースにおける具体的な役割は以下の通り。

#### 【製造者】

東京飲料(資)

#### 【販売者】

新宿区商店会連合会

#### 【卸、物流】

(株)エリックス

#### 【フレーバー製造】

さかもと香料

#### 【びん製造・販売】

東洋ガラス(株)、(株)東硝

#### 【サポート事業者】

びん再使用ネットワーク

### スケジュール(予定)

9～12月:事業実施に向けた各種調整・準備

- ・商品開発(フレーバー選定)
- ・P箱準備、びん製造、
- ・チラシ(500部)、ポスター(3万部)の作成
- ・販売店、回収方法等の調整 / など

1月中旬頃:サイダー販売開始(予定)

2月まで :空きびん回収



#### 【Rドロップス】

- ・(社)全国清涼飲料工業会などメーカーの協力を得て開発した、新しいリユースびん。
- ・炭酸飲料の充填が可能で、王冠タイプ。

#### 【空きびん回収】

- ・回収は販売店舗等で行う予定。
- ・消費者は、空きびん回収に協力することで「アトム通貨」を得る。回収協力へのインセンティブとなる。